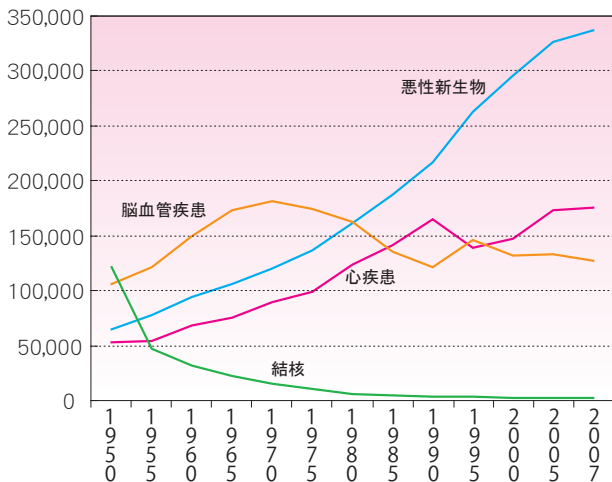


がんは死因のトップ

がんによる死亡者数は、1981年（昭和56年）に脳血管疾患による死亡者数を抜き、以来27年にわたり、日本人の死因の第1位であるとともに、グラフで明らかなように、いまなおその数は増加しています。07年（平成19年）には全死亡者110万8千人中33万6千人に達しており、ほぼ3分の1を占めています。これは交通事故で亡くなった人の実に50倍にもなります。

がんで亡くなる人はほぼ1分半に1人のペースであり、高齢化が進むにつれて、さらに増加することが予想されます。

主な疾病による死亡者数の推移



厚生労働省・人口動態統計より（単位：人）